

## 平成 20 年度 2 月補正予算案（国の第 2 次補正等対応分）の概要

### 1 総 括

国の第 2 次補正予算等に対応し、事業効果が高く、県民生活に直結した緊急に実施する必要がある事業について補正予算を編成した。

### 2 補正予算の規模

一般会計	3 2 5 億 8, 0 4 5 万 8 千円
（補正後累計）	1 兆 7, 5 4 9 億 8, 9 5 8 万 5 千円

### 3 主な内容

#### ○ 事業効果が高い公共事業の実施

・ 道路・街路事業	5 5 億 9, 7 0 0 万円
・ 河川事業	2 1 億 6, 7 3 0 万円
・ 公園事業	2, 8 0 0 万円
・ 治山事業	7, 2 0 0 万円

#### ○ 基金の創設等

・ ふるさと雇用再生基金 （非正規雇用労働者等を雇い入れて継続的な雇用機会を創出するための基金）	5 4 億 2, 4 5 1 万 6 千円
・ 緊急雇用創出基金 （離職を余儀なくされた労働者等の一時的な雇用機会を創出するための基金）	5 4 億 3, 4 5 2 万 5 千円
・ 消費者行政活性化基金 （消費生活相談窓口の機能強化等を図るための基金）	6 億 5 0 万円
・ 妊婦健康診査支援基金 （市町村が実施する妊婦健康診査事業の円滑な推進を図るための基金）	4 4 億 2, 6 2 5 万 1 千円
・ 障害者自立支援対策臨時特例基金※ （障害者自立支援法への移行等の円滑な実施を図るための基金の延長・積み増し）	2 4 億 6, 6 9 3 万 8 千円
・ 安心こども基金※ （「新待機児童ゼロ作戦」による保育所整備の前倒し実施等を図るための基金）	5 0 億 1, 4 6 9 万 2 千円

※新たな基金は設置せず、シラコバト長寿社会福祉基金へ積み立て

○ その他

- ・ 妊婦健康診査事業経費の市町村への助成 1億7,365万6千円
- ・ 介護福祉士等修学資金貸付経費の県社会福祉協議会への助成 8億8,224万円

○ 繰越明許費の設定 8億1,714万円  
公共事業（道路・街路、河川、公園、治山事業）等

○ 債務負担行為の設定 限度額 8億5,200万円  
公共事業（道路・街路事業）、本庄早稲田駅周辺土地区画整理事業

**4 財 源**（一般会計）

- ・ 国庫支出金 299億2,011万6千円
- ・ 分担金及び負担金 3,004万円
- ・ 財産収入 1,957万6千円
- ・ 繰入金 1億7,365万6千円
- ・ 県債 24億3,400万円
- ・ 繰越金 307万円